



◀今年17回目を迎えた栗山町での田植え・稲刈りツアー。JA栗山青年部の協力のもと、5月に子どもたちに手作業による田植を体験してもらい、9月に成長した稲を刈るというもの。毎年50人ほどの地域の親子が参加している。写真は今年の田植えの様子。参加したい地域の方はぜひお問い合わせください！

▼稲刈りでは実際に自分たちが植えた苗の成長を手にとって確認できることが、子どもたちにとって貴重な体験となっている



一時は三百人近い会員がいたという女性サークル連絡協議会ですが、この二十六年間でサークルの加入・脱退を繰り返し、現在は四つのサークルと九人の個人会員で会を構成。三十〜六十代という幅広い年代の女性四十七人が「自分たちにできるちょっとしたことでも地域の役に立ちたい」と頑張っています。仕事や家事、子育て、親の介護など、それぞれ合間を縫いながらの活動となるため、会議を開くにも日程を調整するのが難しく、全員が顔を合わせられる日も少ないといえます。

日常生活では味わえない喜びがある

できれば長く続けていきたい



▲ふるさとまつりでは、第1回目から裏方として協力。近年は、たこ焼き屋などを出店し売り上げを活動資金に当てると同時に、活動内容について区民にPRしています。写真はパネルを利用して活動内容を来場者に説明した今年のふるさとまつりの様子

現在も活動している四サークルは、いずれも十年以上参加している団体。そのうち一サークルは発足当初からずっと参加しているというから驚きです。こんなに長く続けられるその魅力は「仕事や家事などの日常生活とは違った場所、自分が何かの役に立っているという達成感を感じる」ことができること。この達成感は仕事などの達成感とはまったく別物で、無償の活動だからこそ味わえるものなのだそう。また、地域も生活環境もまったく違う女性が集まっていることから、気兼

わたしたちと一緒に活動しませんか？

区内を活動拠点とする女性のサークル、区内に在住の女性の方、私たちと一緒に活動しませんか？仕事をしている人、専業主婦の人、未婚、既婚、年齢一切問いません。少しでも興味のある方はお問い合わせください！



■問い合わせ・詳細■
白石区女性サークル連絡協議会事務局
(区地域振興課地域活動係内) ☎(861)2400 内線256

ねなく家庭や子どもの話ができて、女性としての悩みを分かち合えることもメリットの一つ。会議の後、雑談をしながら、ついつい長く話し込んでしまうこともあるのだとか。今後は、「今までの活動に加え、ボランティア活動にもっと力を入れていきたい」などと、新たな取り組みに挑戦しようという意気込みもあります。

地域のために何かをしたいとき、一人ではどうしていいかわからなくても、ここできらきつと何かを実を結ぶ。そう思わずにはいられないくらい、明るい女性の元気なパワーを感じる団体です。